

各 位

Ⓔ 平成 13年 11月 2日

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社
コード番号 4667
問合せ先 執行役員 管理部長
神野照朗
TEL (052) 950 - 7500

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 13年 5月 24日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 14年 3月期中間業績予想数値の修正(平成 13年 4月 1日 ~ 平成 13年 9月 30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13年 5月 24日 発表)	1,110	82	47
今回修正予想(B)	927	△ 31	△ 22
増減額(B-A)	△ 183	△ 113	△ 69
増減率	△ 16.4	-	-
前期(平成13年 3月中間期)実績	1,258	△ 179	△ 156

2. 14年 3月期通期業績予想数値の修正(平成 13年 4月 1日 ~ 平成 14年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13年 5月 24日 発表)	2,324	251	145
今回修正予想(B)	2,030	29	20
増減額(B-A)	△ 294	△ 222	△ 125
増減率	△ 12.6	△ 88.4	△ 86.2
前期(平成13年 3月期)実績	2,377	△ 115	△ 195

3. 理 由

当中間期においては、4月から6月までは測量業界での市況停滞の状況下、前期末からの営業展開の効果もあり、当初計画に沿った売上高を確保してまいりましたが、7月以降、測量業界全体の一段の業況悪化の影響もあり、従来以上の積極的な営業展開を進めてまいりましたが、主力製品として昨年度より発売開始したWing neolに対するユーザーからの導入気運には結びつかず、一方では市場間での価格競争の影響もあり、計画を下回る結果となりました。

その結果、当中間期は売上高1,110百万円、経常利益82百万円、中間純利益47百万円を計画しておりましたが、売上高927百万円、経常損失31百万円、中間純損失22百万円となると予想しております。

下半期につきましては、10月1日より販売開始した土木・建設業界向け新製品Civil Manager m@te(メイト)の積極的な販売に向け、既存ユーザーのみならず新規販売ルートを確立することにより、測量市場を主要な収益の柱とする当社の収益構造を改革し、第2の収益の柱として育てるべく組織変更を実施し、積極的な営業展開を進めてまいります。以上により、売上高1,103百万円、経常利益60百万円を見込んでおります。

したがって、平成 14年 3月期通期(平成 13年 4月 1日 ~ 平成 14年 3月 31日)として、売上高2,030百万円、経常利益29百万円、当期純利益20百万円となると予想しております。

以 上

